学　　科	鍼灸マッサージ科	学　年	2年生	期　別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	診断学Ⅰ			担当教員	城田健吾		
授業の方法	講義、演習			単位数	２単位	時間数	60時間
学修内容	施術者として臨床にあたる上で必要な現代医学の診察法である整形外科的検査、神経学的検査の診察過程の意義を十分理解し、その基本的知識および技術を習得する。						
授業の到達目標	Ⅲ. 基本的臨床能力　2. 主要症候に対する身体診察 5. はき施術を安全かつ適切に行う能力 Ⅳ. コミュニケーション　1. 身だしなみ・礼儀やマナー 2. 聴く・観る・書く・伝える 3. 患者やその患者に対するホスピタリティと共感的態度 4. 他者と良好な関係を構築できる能力						

授業計画	前　　期		後　　期	
	回	テーマ	回	テーマ
	1	診察の概要（深部反射、病的反射含）	1	神経学的診察（脳神経検査）①
	2	腰－下肢痛に対する診察　①	2	神経学的診察（脳神経検査）②
	3	腰－下肢痛に対する診察　②	3	神経学的診察（脳神経検査）③
	4	腰－下肢痛に対する診察　③	4	神経学的診察（脳神経検査）④
	5	膝痛に対する診察　①	5	神経学的診察（脳神経検査）⑤
	6	膝痛に対する診察　②	6	神経学的診察（脳神経検査）⑥
	7	頚－上肢痛に対する診察　①	7	神経学的診察（上肢の運動機能、小脳運動機能）
	8	頚－上肢痛に対する診察　②	8	神経学的診察（髄膜刺激症状）
	9	頚－上肢痛に対する診察　③	9	神経学的診察（四肢の筋トーヌス）
	10	肩痛に対する診察　①	10	神経学的診察（反射検査）①
	11	肩痛に対する診察　②	11	神経学的診察（反射検査）②
	12	肘痛・手部痛に対する診察　①	12	神経学的診察（感覚機能）①
	13	肘痛・手部痛に対する診察　②	13	神経学的診察（感覚機能）②
	14	整形外科的検査法の流れ　①	14	神経学的的検査法の流れ　①
	15	整形外科的検査法の流れ　②	15	神経学的的検査法の流れ　①

評価基準	評価：90-100点（A評価）、80-89点（B評価）、70-79点（C評価）、60-69点（D評価）、59点以下（F・不可）

評価方法	中間試験、期末試験などで総合的に評価します。	実務経験	教員歴8年，臨床経験14年
履修上の注意	短パンを使用することがあります。	授業時間外の学習	予習・復習など適宜指示します。
使用教材	検査用具：打鍵槌、筆、鍼（針）、ペンライト、ほか 教科書　：臨床医学総論、解剖学、 リハビリテーション医学 配布プリント	連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねてください。